

～総務省からのお知らせ～

主権者教育アドバイザー制度のご案内

総務省では、主権者教育アドバイザーを研修会や出前授業等に派遣する取組を実施しています。これまで、中・高校生、選挙管理委員会委員・事務局職員、教員、明るい選挙推進協議会委員など様々な方を対象にした研修会等に派遣し、受講者からは選挙や政治に興味を持ったなどの感想が多く寄せられています。また、オンラインでの実施もしています。

本制度では、アドバイザー派遣に係る費用を総務省が負担します。研修や出前授業を計画されている団体の皆様は、要綱をご確認のうえ、是非、ご活用ください。

【掲載URL】

https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/senkyo/education_adviser/index.html

「若者フォーラム2021」がYouTubeで視聴できます！

令和4年3月5日(土)に開催した「若者フォーラム2021 日々のモヤモヤから始めてみよう 自分目線で見ると政治・選挙ことはじめ」のフォーラム映像が、YouTubeの総務省動画チャンネル内で視聴できます。是非、ご覧ください！

※動画には字幕データを登録しています。

【配信期間】2023年3月31日まで

【掲載URL】https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/news/senkyo/education_adviser/wakamonoforum2021.html

～明るい選挙推進協会からのお知らせ～

「情報誌VotersNo.67」を発行します

67号の特集は「全国フォーラム」です。3月9日に開催した全国フォーラムでの、当協会の佐々木毅会長の講演「民主政の現在」とパネルディスカッション「若者が考える政治・選挙」を紙上採録したものです。講演では、ヨーロッパ諸国やアメリカの民主政の現状、また民主主義の弱体化を説くとともに、ウクライナへの侵攻が止められないロシアの体制にも触れ、我が国の民主主義の今後についてお話いただきました。パネルディスカッションでは、静岡大学の井柳美紀先生をコーディネーターに、選挙啓発に携わる大学生3名をパネリストに迎え、若者が選挙や政治をどう考えているのか、政治参加に重要なのは何かについて、意見交換を行いました。

また、令和3年度の明るい選挙推進優良活動表彰の受賞団体の概要や、昨年度実施した若い有権者の意識調査の概要等を掲載しています。

その他連載は、佐々木毅会長のコラム、明推協リレーコラムのほか、今号から、「世界の選挙事情」と「選挙管理実務あれこれ」の2本が始まりました。

5月の連休明け頃に納品予定ですので、是非ご覧ください。

【問合せ先】（公財）明るい選挙推進協会 Tel：03-6380-9891

主権者教育だよりへの情報掲載について

主権者教育だよりでは、主権者教育や選挙啓発に関する総務省や各選管などの取組みを広く情報発信しています。自分たちの取組みやイベントを紹介してほしいという希望にも可能な限りお応えしますので、ぜひご連絡ください。なお、配信は毎月月末を予定しています。

～若者向け啓発活動紹介～

明るい選挙4コマ・マンガ作品集(徳島県選挙管理委員会)

徳島県選挙管理委員会では、若い世代に対して選挙への関心を高め、主権者としての意識を醸成するため、「明るい選挙4コマ・マンガ作品集」を発行しました。

作品集は、小・中学生等の若い世代からの公募による「選挙に関する4コマ・マンガ」の優秀作品100選からなる上下巻で構成されており、気軽に手に取って読むことができる「コミックスサイズ」としています。

作品集を手にとった方が、作品を通じて若い世代の皆さんの選挙に対する「イメージ」や「想い」に触れていただき、一票の大切さやその価値を改めて感じていただければと考えています。

また、作品集の「デジタル版」も作成しており、徳島県選挙管理委員会のホームページからお楽しみいただけますので、是非ご覧ください。

【デジタル版掲載URL】

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/kenseijoho/senkyo/7204809/>



～主権者教育アドバイザー紹介～

令和4年3月24日(木)に富山県にて講演しました！

主権者教育アドバイザー 越智 弘一(元多摩市選挙管理委員会事務局長)

富山県では、若者の投票率が伸び悩む現状に、県選管が高校での出前授業を精力的に実施していますが、市町村による小中学校を対象とした出前授業の実績が少ないのが課題との声を受けて、3月24日に県内の関係者の方々にZoomを通じて多摩市の小中学校で研究・検証を重ねた「給食大臣選挙やスピリットシティー市長選挙」の様子を動画で紹介しました。

これまでの授業は選挙の意義や投票方法などの講義が中心ですが、「手っ取り早く答えを求め、自ら考えて答えを出す意識が薄い若者の現状や教育環境・親子関係の特性」などを説明し、多様な意見の中から自分の答えを出すプロセスを設定し、子ども達の自己表現を引き出していく模擬投票の実践を解説しました。

児童や生徒全員が生き生きとし、中高生が自主性・主体性を持って模擬投票に臨む状況に、これまでの主権者教育のイメージが変わったとの感想を多くの参加者から頂き、実施に向けた一歩が踏み出されようとしています。

参加者からの声

- ▶義務教育段階での主権者教育の大切さを感じました！
- ▶主権者教育を行うときの具体的なイメージを持つことができました！

【問合せ先】

総務省自治行政局選挙部管理課選挙啓発係
中南・林・小菅 TEL：03-5253-5574 FAX:03-5253-5575